

消 防 統 計

令和5年

西尾市消防本部

凡 例

1. この統計書は、西尾市消防本部管轄区域における火災、救急、救助について、原則として令和5年の統計を収録し、一部の表には過去4年分の計を比較対象のため掲げてあります。
2. この統計に記載されている小数点の数値にあつては四捨五入しています。端数調整をしていないため、合計が100パーセントとならない場合があります。
3. 令和5年数値は速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する可能性があります。なお、令和4年以前の数値は確定値となります。

火災統計

目 次

1	令和5年 火災概要	1
2	火災概況	2
3	火災種別出火件数の構成割合	3
4	月別火災発生状況	3
5	出火率・出火件数及び人口の増加率	3
6	地区別出火件数の推移	4
7	覚知方法別出火件数	4
8	損害額の推移	5
9	火災種別損害額	5
10	出火原因別出火件数	6
11	時間帯別火災発生状況	7
12	曜日別火災発生状況	7
13	火災による死傷者の推移	8
14	火元用途別建物火災の損害状況	8
15	建物火災の損害額及び焼損床面積の段階別出火件数	9
16	火災種別出火件数の推移	9
17	初期消火器具等の使用状況	9
18	主な出火原因の推移	10

1 令和5年 火災概要

(1) 出火件数

令和5年中における出火件数は59件で、前年の61件と比べ2件減少した。

出火件数を月別にみると、12月が9件（15.3%）と最も多く、次いで7月が8件（13.6%）、10月が7件（11.9%）、1月及び4月が各6件（各10.2%）、5月及び11月が各5件（各8.5%）、2月が4件（6.8%）、3月及び9月が各3件（5.1%）、8月が2件（3.4%）、6月が1件（1.7%）の順であった。

さらに、出火件数を地区別にみると、「一色地区」が16件（27.1%）で最も多く発生し、次いで「西尾地区」が13件（22.0%）、「平坂地区」が11件（18.6%）、「幡豆地区」が6件（10.2%）、「福地地区」、「三和地区」及び「吉良地区」が各4件（各6.8%）、「室場地区」が1件（1.7%）の順であった。

(2) 死傷者

火災による死者は1名、負傷者は4名であった。

(3) 出火原因

主な出火原因を原因別にみると、「放火・放火の疑い」が9件（15.3%）で最も多く、次いで「たき火」が7件（11.9%）、「たばこ」が5件（8.5%）、「焼却炉・炉」が4件（6.8%）、「こんろ」が3件（5.1%）、「電灯・電話等の配線・配線器具」及び「電気機器」が各2件（各3.4%）、「火遊び」が1件（1.7%）であった。

2 火災概況

区分	単位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)×100 (%)
出火件数		59	61	△ 2	△ 3.3
建物	件	29	30	△ 1	△ 3.3
林野		1	2	△ 1	△ 50.0
車両		4	6	△ 2	△ 33.3
船舶					
航空機					
その他		25	23	2	8.7
焼損棟数		47	39	8	20.5
全焼	棟	7	9	△ 2	△ 22.2
半焼		3	2	1	50.0
部分焼		25	11	14	127.3
ぼや		12	17	△ 5	△ 29.4
建物焼損床面積	㎡	3,918	1,341	2,577	192.2
建物焼損表面積		116	102	14	13.7
林野焼損面積	a	67	2	65	3,250.0
死者	人	1	4	△ 3	△ 75.0
負傷者		4	8	△ 4	△ 50.0
り災世帯数		29	26	3	11.5
全損	世帯	4	6	△ 2	△ 33.3
半損		1		1	皆増
小損		24	20	4	20.0
り災人員	人	80	60	20	33.3
損害額		1,419,979	245,192	1,174,787	479.1
建物	千円	1,419,050	213,647	1,205,403	564.2
林野					
車両		445	13,736	△ 13,291	△ 96.8
船舶					
航空機					
その他		484	17,809	△ 17,325	△ 97.3
出火率		3.5	3.6	△ 0.1	—

- 1 「全焼」とは、建物(収容物を除く。)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
- 2 「半焼」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 3 「部分焼」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- 4 「ぼや」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。
- 5 「全損」とは、建物(収容物を含む。)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
- 6 「半損」とは、建物(〃)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全損に該当しないものをいう。
- 7 「小損」とは、建物(〃)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものをいう。
- 8 出火率は、人口1万人に対する出火件数をいう。(令和5年12月1日現在 170,316 人)

3 火災種別出火件数の構成割合

火災種別	令和5年(%)	令和4年(%)
建物火災	49.2	49.2
林野火災	1.7	3.3
車両火災	6.8	9.8
船舶火災		
航空機火災		
その他火災	42.4	37.7

4 月別火災発生状況

月別	件 計	火 災 種 別					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
1月	6 (10.2%)	2					4
2月	4 (6.8%)	3					1
3月	3 (5.1%)	1		1			1
4月	6 (10.2%)	4	1				1
5月	5 (8.5%)	2					3
6月	1 (1.7%)			1			
7月	8 (13.6%)	5					3
8月	2 (3.4%)	2					
9月	3 (5.1%)	1		1			1
10月	7 (11.9%)	1					6
11月	5 (8.5%)	4		1			
12月	9 (15.3%)	4					5

※ ()内は令和5年火災件数59件に対する割合(%)をいう。

5 出火率・出火件数及び人口の増加率

区分	令和5年	平成31年 (令和元年)	増加率(%)
出火率	3.5	3.5	0.0 ポイント
出火件数(件)	59	61	△ 3.3
うち建物火災	29	37	△ 21.6
人 口(人)	170,316	172,339	△ 1.2

※ 人口は令和5年12月1日現在とする。

6 地区別出火件数の推移

地区 \ 年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
西尾地区	21	10	15	18	13 (22.0%)
平坂地区	7	12	15	8	11 (18.6%)
寺津地区	5		1	3	
福地地区	6	2	5	6	4 (6.8%)
室場地区	1	2	2	2	1 (1.7%)
三和地区	4	3	3	2	4 (6.8%)
米津地区		1	2	4	
一色地区	4	10	8	10	16 (27.1%)
吉良地区	7	5	12	5	4 (6.8%)
幡豆地区	6	6	7	3	6 (10.2%)
計	61	51	70	61	59

※ ()内は令和5年火災件数59件に対する割合(%)をいう。

7 覚知方法別出火件数

火災報知専用電話(NTT加入)	4 件	6.8 %
火災報知専用電話(NTT加入除く)	5 件	8.5 %
火災報知専用電話(携帯)	39 件	66.1 %
加入電話(固定)	2 件	3.4 %
加入電話(携帯)	1 件	1.7 %
駆け付け通報	件	%
事後聞知	8 件	13.6 %
その他	件	%

※ 火災報知専用電話とは、通報者等が行う火災や救急等に関する緊急通報を、消防機関が受信するための専用電話をいう。

8 損害額の推移

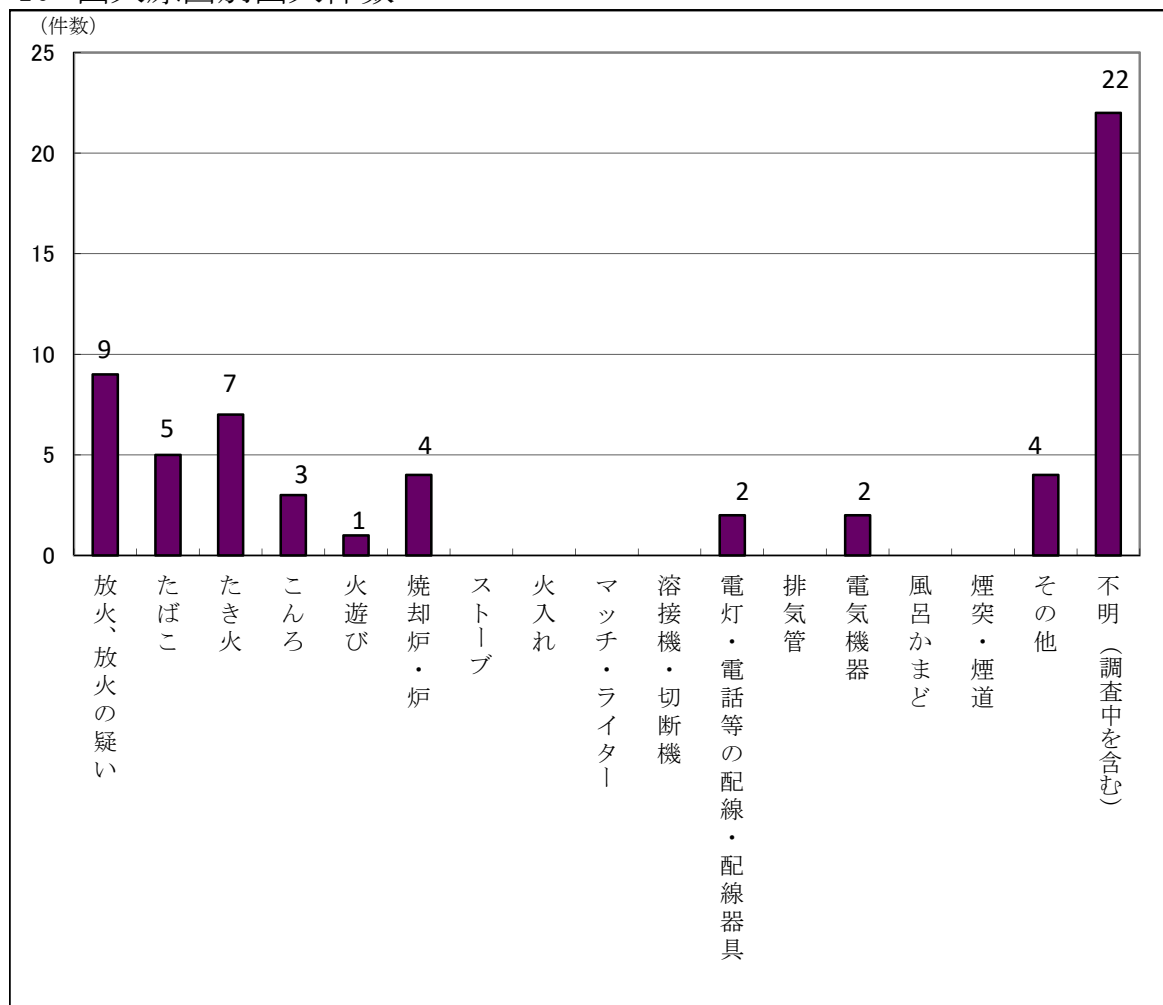
損害額		年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
損害額(千円)			95,666	695,053	278,915	245,192	1,419,979
	指数		100	727	292	256	1484
1件当たり損害額(千円)			1,568	13,628	3,985	4,020	24,067
	指数		100	869	254	256	1535
1ヶ月当たり損害額(千円)			7,972	57,921	23,243	20,433	118,332
	指数		100	727	292	256	1484

※ 指数については、令和元年の損害額を100とした比をいう。

9 火災種別損害額

火災種別	区分	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当たりの損害額 (千円)
建物火災		1,419,050	99.9	48,933
林野火災				
車両火災		445	0.0	111
船舶火災				
航空機火災				
その他火災		484	0.0	19
計		1,419,979	100	平均 24,067

10 出火原因別出火件数



11 時間帯別火災発生状況

種別 時間帯別	計	火災件数					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
	59	29	1	4			25
0～1	2	2					
1～2	2	1					1
2～3							
3～4							
4～5	4	2					2
5～6							
6～7	3	1					2
7～8	2	1		1			
8～9	2	2					
9～10	1						1
10～11	3	2					1
11～12	4	2					2
12～13	3						3
13～14	4		1				3
14～15	3	2					1
15～16	4	2					2
16～17	3	2					1
17～18	3			1			2
18～19	2	2					
19～20	5	3					2
20～21	2	1					1
21～22	2	2					
22～23	3	1		1			1
23～24	1			1			
不明	1	1					

12 曜日別火災発生状況

火災種別 曜日別	計	火災件数					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
	59	29	1	4			25
日曜日	9	2	1	1			5
月曜日	8	3		1			4
火曜日	8	4					4
水曜日	9	6					3
木曜日	11	7					4
金曜日	6	2		1			3
土曜日	7	4		1			2
不明	1	1					

13 火災による死傷者の推移

死傷者	年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	死者(人)		5	1	2	4
負傷者(人)		5	8	4	8	4

※ 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

14 火元用途別建物火災の損害状況

用途別	出火件数			焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
	令和5年	令和4年	増減率(%)		
住宅(併用含む)	19	13	46.2	464	150,304
共同住宅	1	6	△ 83.3		7
工場・作業場	1	6	△ 83.3		1,255
倉庫	2	2	0.0	3,276	1,209,924
診療所					
飲食店					
その他	6	3	100.0	12	531
計	29	30	△ 3.3	3,752	1,362,021

1 火元用途とは、消防法施行令別表第一による用途別の区分をいう。

2 類焼建物は含まず。

15 建物火災の損害額及び焼損床面積の段階別出火件数

損害額（千円）	出火件数（件）	焼損床面積（㎡）	出火件数（件）
1未満	2	1未満	17
1～10未満	3	1～20未満	6
10～100未満	7	20～40未満	
100～500未満	8	40～60未満	2
500～1,000未満	2	60～80未満	1
1,000～5,000未満	1	80～100未満	
5,000～10,000未満	1	100～200未満	1
10,000以上	5	200以上	2
計	29	計	29

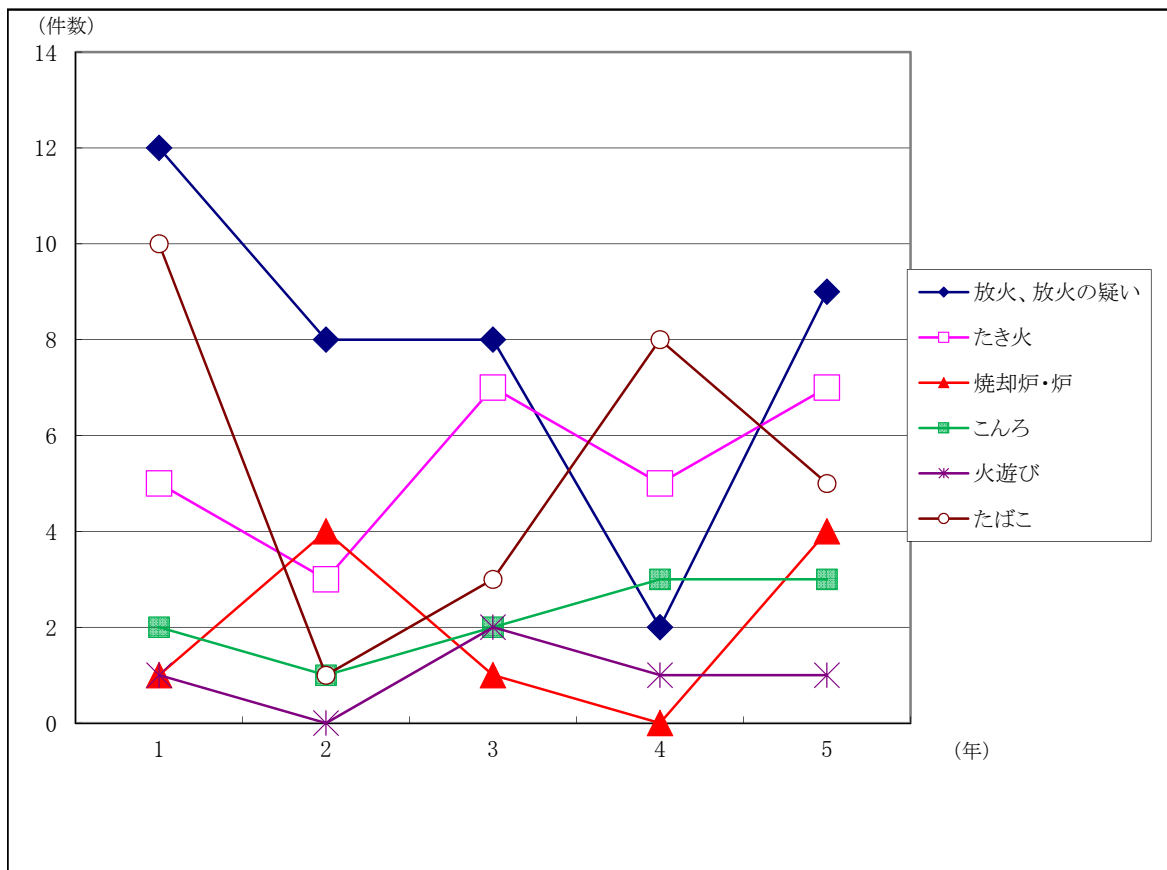
16 火災種別出火件数の推移

火災種別 年別	計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
令和元年 (平成31年)	61	37	2	3			19
令和2年	51	29		2			20
令和3年	70	41	1	7	1		20
令和4年	61	30	2	6			23
令和5年	59	29	1	4			25

17 初期消火器具等の使用状況

区分	消火器	簡易消火用具 水バケツ等	水道、浴槽、 汲み置き等の 水をかけた	寝具、衣類 等をかけた	もみ消した	その他	初期消火なし
使用状況	9	4	16	2	1	2	25
奏効件数	4		7	1		1	

18 主な出火原因の推移



救急統計

目 次

1 令和5年 救急業務の概要	-----	1
2 救急出動件数及び搬送人員	-----	2
3 医療機関別搬送人員	-----	3
4 傷病程度別搬送人員	-----	3
5 署所別救急出動件数及び支援出動件数	-----	4
6 地区別救急出動件数及び搬送人員	-----	4
7 現場到着所要時間別出動件数	-----	5
8 収容所要時間別搬送人員	-----	5
9 年齢・性別別搬送人員	-----	6
10 時間別救急出動状況	-----	6
11 救急法講習会実施状況	-----	7
12 普通救命講習会実施状況	-----	7
13 出動件数の推移	-----	8

1 令和5年 救急業務の概要

(1) 出動件数及び搬送人員

令和5年中における救急出動件数は7,873件（前年比299件増加）、搬送人員は7,483人（前年比413人増加）で、いずれも昨年に続き過去最多となった。

出動件数を事故種別で見ると、「急病」が5,571件（70.8%）と最も多く、前年と比べ206件増加した。出動件数は月平均656件で、特に多くの救急出動があったのは、1月に696件、7月に736件、8月に764件、9月に763件、12月に760件であった。

救急出動件数を地区別にみると「西尾地区」が2,747件（34.9%）と最も多く、次いで「一色地区」が1,018件（12.9%）、「吉良地区」が961件（12.2%）、「平坂地区」が931件（11.8%）、「幡豆地区」が558件（7.1%）、「三和地区」が479件（6.1%）、「福地地区」が436件（5.5%）、「寺津地区」が322件（4.1%）、「米津地区」が278件（3.5%）、「室場地区」が136件（1.7%）、市外への出動が7件（1%未満）の順であった。

(2) 救急需要増加の要因

例年、夏季と冬季には多くの救急事案が発生するが、1月の新型コロナウイルス第8波と記録的な猛暑により、救急需要が更に増加したと推測する。また、寒さが厳しい時期には、自宅で入浴する際の事故（ヒートショック）も発生している。

救急需要の増加を見越し、SNSやホームページ等で、救急車の適正利用、熱中症、ヒートショックの予防等について広報していく。

【救急車の適正利用にご協力を】

<https://www.city.nishio.aichi.jp/kurashi/shobo/1001373/1004553.html>

【冬の入浴時に注意 ヒートショック】（広報にしお・令和6年1月号31ページ）

https://www.city.nishio.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page/001/009/184/202401.pdf

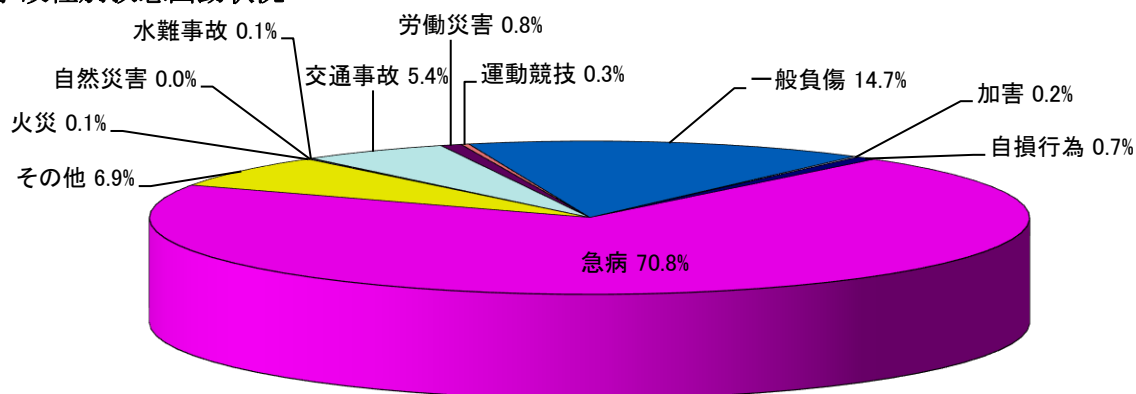
(3) 現場到着所要時間の短縮

近年、救急出動件数の増加等により現場到着所要時間が延伸傾向であったが、119番通報受信の効率化を図ることにより、令和5年中における現場到着所要時間は平均8.6分（前年比0.7分短縮）となった。

2 救急出動件数及び搬送人員

月別	区分	合計	事故種別										
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1	出動件数	696				24	3		106		5	498	60
	搬送人員	641				24	3		104		3	447	60
2	出動件数	590	1		2	30	9		91		2	416	39
	搬送人員	557	1		1	28	9		89		1	390	38
3	出動件数	550				41	6		84	1	4	380	34
	搬送人員	526				40	6		79	1	4	365	31
4	出動件数	545				34	4	5	72		6	385	39
	搬送人員	530				35	4	5	71		5	371	39
5	出動件数	557	1			33	7	3	91		7	376	39
	搬送人員	529	1			35	7	3	89		4	355	35
6	出動件数	612		2	1	30	7	4	92	3	6	415	52
	搬送人員	581			1	28	7	4	88	3	4	395	51
7	出動件数	736	2		1	37	4	2	98	1	4	538	49
	搬送人員	710			1	38	4	2	95		3	521	46
8	出動件数	764	1			42	3	2	101	2	3	576	34
	搬送人員	732				41	3	2	96	1	3	552	34
9	出動件数	763	1			45	5	3	98	1	4	550	56
	搬送人員	731	1			43	5	3	95	1	3	524	56
10	出動件数	647				35	2	2	104		5	454	45
	搬送人員	619				36	2	2	101		2	433	43
11	出動件数	653	1			34	7		108	2	8	442	51
	搬送人員	631				33	7		106	2	6	427	50
12	出動件数	760	3			41	3	2	114	4	4	541	48
	搬送人員	696				39	3	2	106	4	1	494	47
累計	出動件数	7,873	10	2	4	426	60	23	1,159	14	58	5,571	546
	搬送人員	7,483	3	0	3	420	60	23	1,119	12	39	5,274	530

事故種別救急出動状況



3 医療機関別搬送人員

医療機関		事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計		
		国立	公立							
救急告示医療機関	国立			1					1	
	公立			3,221	266	851	259		4,597	
	公的			1,034	66	88	270		1,458	
	私的	病院			989	88	177	128		1,382
		診療所								0
	計				5,245	420	1,116	657		7,438
その他の医療機関	国立								0	
	公立			9			6		15	
	公的								0	
	私的	病院			6			6		12
		診療所			14		3	1		18
	計				29		3	13		45
計	国立			1					1	
	公立			3,230	266	851	265		4,612	
	公的			1,034	66	88	270		1,458	
	私的	病院			995	88	177	134		1,394
		診療所			14		3	1		18
	計				5,274	420	1,119	670		7,483
その他の場所(歯科医等)										
合計				5,274	420	1,119	670		7,483	

4 傷病程度別搬送人員

事故種別	傷病程度		死亡		重症		中等症		軽症		その他		小計	
	性別	別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
火災							2		1				3	0
自然災害													0	0
水難事故							1		1	1			2	1
交通			2	2	5	7	63	36	160	145			230	190
労働災害					4		26	5	22	3			52	8
運動競技						1	5	1	13	3			18	5
一般負傷			3	3	9	14	139	243	359	349			510	609
加害			1				1		7	3			9	3
自損行為			2	1	3	3	9	7	4	10			18	21
急病			69	43	94	92	1,322	1,077	1,341	1,236			2,826	2,448
その他					15	9	243	248	9	6			267	263
小計			77	49	130	126	1,811	1,617	1,917	1,756	0	0	3,935	3,548
計			126		256		3,428		3,673		0		7,483	

5 署所別救急出動件数及び支援出動件数

区分	署所別	本部/本署 救急西尾1	北出張所 救急西尾4	東出張所 救急西尾3	西分署 救急西尾2	一色分署 救急西尾5	吉良分署 救急西尾6	幡豆分署 救急西尾7	合計
救急出動		2,171	964	823	1,283	1,040	961	631	7,873
支援出動		594	20	1	204	189	140	94	1,242

支援出動:119番通報で傷病者が重傷と予測される場合や、高層建物で救急隊のみでの傷病者搬送が困難になる場合等では、消防隊が救急隊の活動を支援している。

6 地区別救急出動件数及び搬送人員

地区別	区分	事故種別 合計	事故種別										その他
			火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	
西尾	出動件数	2,747	3	1		134	9	9	420	4	21	1,791	355
	搬送人員	2,609	1			139	9	9	403	3	14	1,686	345
平坂	出動件数	931	1		1	42	7	1	108	4	10	727	30
	搬送人員	903	1		1	42	7	1	107	3	10	701	30
寺津	出動件数	322			1	12	1	2	50	1	3	248	4
	搬送人員	303			1	12	1	2	49	1	1	233	3
福地	出動件数	436	1			38	8		53	1	3	332	
	搬送人員	414				39	8		51	1	3	312	
室場	出動件数	136				11	4	1	23		1	96	
	搬送人員	129				10	4	1	23			91	
三和	出動件数	479				26	4	6	65		1	338	39
	搬送人員	455				22	4	6	64			321	38
米津	出動件数	278				26	1	1	35		3	210	2
	搬送人員	263				26	1	1	34		2	197	2
一色	出動件数	1,018	2		1	46	7	3	144	3	5	730	77
	搬送人員	968			1	42	7	3	138	3	2	695	77
吉良	出動件数	961				55	12		160	1	8	707	18
	搬送人員	918				55	12		157	1	6	672	15
幡豆	出動件数	558	3	1	1	36	7		101		3	387	19
	搬送人員	516	1			33	7		93		1	362	19
市外	出動件数	7										5	2
	搬送人員	5										4	1
合計	出動件数	7,873	10	2	4	426	60	23	1,159	14	58	5,571	546
	搬送人員	7,483	3	0	3	420	60	23	1,119	12	39	5,274	530

7 現場到着所要時間別出動件数

事故種別 所要時間	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
3分未満	32	5	6	7	50
3分以上5分未満	198	14	42	53	307
5分以上10分未満	3,515	252	778	480	5,025
10分以上20分未満	1,780	145	323	170	2,418
20分以上	46	10	10	7	73
合計	5,571	426	1,159	717	7,873

所要時間

最短(分)	0	1	0	0	0
最長(分)	30	26	29	22	30
平均(分)	8.7	9.2	8.4	8.0	8.6

8 収容所要時間別搬送人員

事故種別 所要時間	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
10分未満	1				1
内管外					0
10分以上20分未満	43	9	26	18	96
内管外					0
20分以上30分未満	1096	81	284	106	1,567
内管外	60		2	35	97
30分以上60分未満	3,891	294	765	499	5,449
内管外	1,647	96	163	378	2,284
60分以上120分未満	238	36	44	43	361
内管外	194	26	32	40	292
120分以上	5			4	9
内管外	5			4	9
合計	5,274	420	1,119	670	7,483
内管外	1,906	122	197	457	2,682

9 年齢・性別別搬送人員

年齢別 区分	10歳未満	10歳以上	20歳以上	30歳以上	40歳以上	50歳以上	60歳以上	70歳以上	80歳以上	不明	合計
		20歳未満	30歳未満	40歳未満	50歳未満	60歳未満	70歳未満	80歳未満			
男	220	132	157	169	158	201	288	679	1,544		3,548
女	303	170	147	157	251	341	399	837	1,330		3,935
合計	523	302	304	326	409	542	687	1,516	2,874		7,483

10 時間別救急出動状況

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
0時～2時	1		1	7	1		33	1	3	266	4				317
2時～4時			1	8	1		19	1	2	254	5				291
4時～6時	1			10			47		7	235	5				305
6時～8時	1		1	57	2		110	1	3	459	9			1	644
8時～10時				43	16	1	164		5	700	41			2	972
10時～12時	1			56	12	8	162	1	4	638	131			3	1,016
12時～14時		1		42	7	3	137	1	6	615	126			2	940
14時～16時	2	1		68	12	2	127	2	9	567	68				858
16時～18時	1			45	7	4	126	1	8	532	69			2	795
18時～20時	2			49		2	106		2	530	47			2	740
20時～22時				24	1	3	80	5	4	443	12			1	573
22時～24時	1		1	17	1		48	1	5	332	15			1	422
合計	10	2	4	426	60	23	1,159	14	58	5,571	532			14	7,873

11 救急法講習会実施状況

実施対象	一般市民	市職員	事業所	消防団	各種団体	合計
件数	23	1	25	1	19	69
人員	664	3	372	9	342	1,390

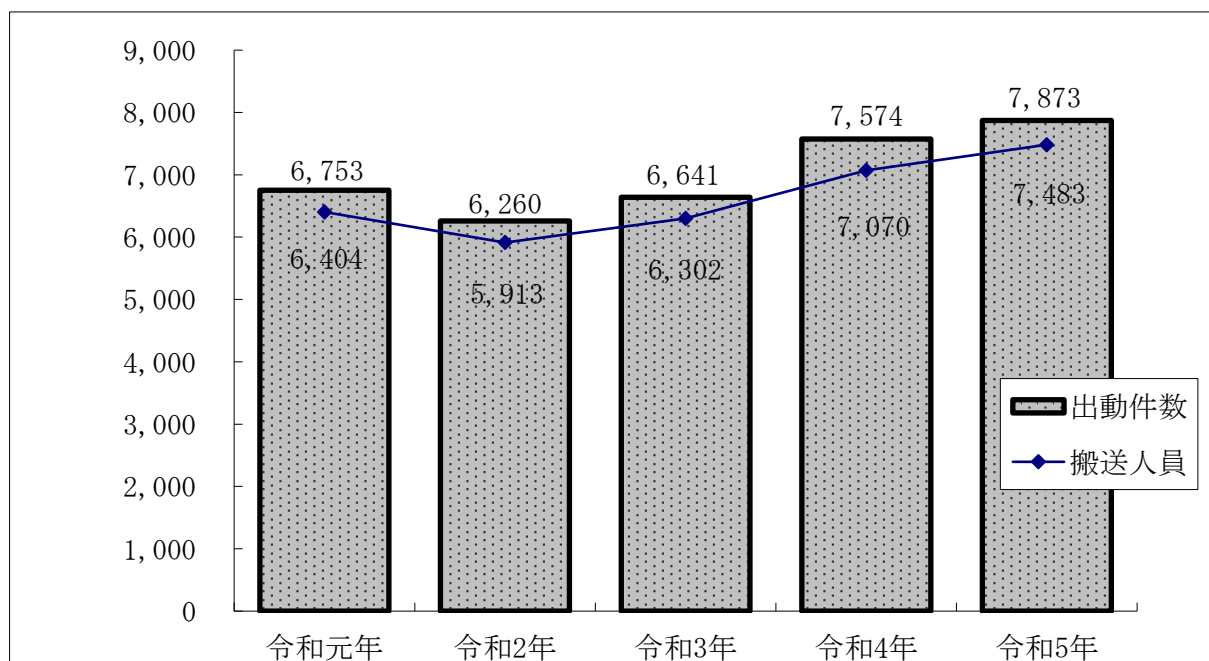
※上表は救命入門コースの実施件数・人員(事業所11件・67人、各種団体 1件・7人)を含む。

12 普通救命講習会実施状況

実施対象 区別 月別	一般市民		市職員		事業所		消防団		各種団体		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
1月	2	12	3	39							5	51
2月	2	17	2	27							4	44
3月	2	18	2	19							4	37
4月	1	1	1	2	2	20					4	23
5月	3	11	1	12	2	13					6	36
6月	1	4	1	12	7	56					9	72
7月	2	3	1	6	1	3	2	17			6	29
8月	3	6	1	13	2	17	2	37			8	73
9月	5	48	4	35	1	14	1	13			11	110
10月	5	30	2	26	1	7			1	37	9	100
11月	3	16									3	16
12月	1	3	2	19	3	16					6	38
合計	30	169	20	210	19	146	5	67	1	37	75	629

13 出動件数の推移

年 事故種別	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
火災	15	11	15	17	10
自然災害					2
水難事故	9	4	12	14	4
交通事故	496	429	417	412	426
労働災害	63	40	53	78	60
運動競技	22	9	14	9	23
一般負傷	953	931	1,003	1,074	1,159
加害	22	26	13	20	14
自損行為	64	52	52	63	58
急病	4,588	4,260	4,564	5,365	5,571
その他	521	498	498	522	546
合計	6,753	6,260	6,641	7,574	7,873
搬送人員	6,404	5,913	6,302	7,070	7,483



救助統計

目 次

1	令和5年救助業務の概要	1
2	救助概況	2
3	事故別出動状況	3
4	発生場所別出動状況	4
5	発生場所別活動状況	4
6	発生場所別救助人員	5
7	地区別出動件数及び人員	5
8	月別救助出動状況	6
9	出動件数の推移	6

1 令和5年 救助業務の概要

(1) 出動件数

令和5年中における救助出動件数は65件で、前年の60件と比べ5件増加した。

救助出動件数を月別にみると、3月、6月及び8月が各7件（各10.8%）と最も多く、次いで2月、4月、7月及び11月が各6件（各9.2%）、9月及び10月が各5件（各7.7%）、12月が4件（6.2%）、1月及び5月が各3件（各4.6%）の順であった。

さらに、救助出動件数を地区別にみると、「西尾地区」が22件（33.8%）と最も多く、次いで「吉良地区」が11件（16.9%）、「平坂地区」が7件（10.8%）、「福地地区」及び「幡豆地区」が各6件（各9.2%）、「三和地区」が5件（7.7%）、「寺津地区」、「室場地区」及び「一色地区」が各2件（各3.1%）、「米津地区」及び「管外」が各1件（各1.5%）の順であった。

(2) 事故種別

事故種別をみると、「交通事故」が26件（40.0%）、「建物等による事故」が15件（23.1%）、「水難事故」が3件（4.6%）、「風水害等自然災害事故」及び「ガス及び酸欠事故」が各2件（各3.1%）、「火災建物」及び「機械による事故」が各1件（各1.5%）の順であった。また、これらに分類されない「その他の事故」は15件（23.1%）であり、その内訳については、高所救助、住宅等での安否確認及び住宅、車両等による閉じ込めが各4件、低所救助が2件、異臭により救助要請されたものが1件であった。

(3) 救助人員

救助人員は52人で、事故種別でみると「交通事故」が18人（34.6%）と最も多く、次いで「建物等による事故」が15人（28.8%）、「水難事故」が3人（5.8%）、「ガス及び酸欠事故」が2人（3.8%）、「火災建物」、「風水害等自然災害事故」及び「機械による事故」が各1人（各1.9%）の順であり、事故種別項目同様に、これらに分類されない「その他の事故」は11人（21.2%）であった。

2 救助概況

区 分		単 位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数 (A) - (B)	
出動件数 計		件	65	60	5	
火災	建物		1	4	△ 3	
	建物以外				0	
交通事故			26	15	11	
水難事故			3	11	△ 8	
風水害等自然災害事故			2		2	
機械による事故			1	2	△ 1	
建物等による事故			15	12	3	
ガス及び酸欠事故			2		2	
破裂事故					0	
その他の事故			15	16	△ 1	
出動人員 計			人	901	1045	△ 144
火災	建物			26	177	△ 151
	建物以外				0	
交通事故		352		242	110	
水難事故		59		237	△ 178	
風水害等自然災害事故		28			28	
機械による事故		15		25	△ 10	
建物等による事故		197		156	41	
ガス及び酸欠事故		30			30	
破裂事故					0	
その他の事故		194		208	△ 14	
救助人員 計		52		49	3	
火災	建物	1		5	△ 4	
	建物以外				0	
交通事故		18		15	3	
水難事故		3		11	△ 8	
風水害等自然災害事故		1			1	
機械による事故		1		2	△ 1	
建物等による事故		15		7	8	
ガス及び酸欠事故		2		2		
破裂事故				0		
その他の事故		11	9	2		

3 事故別出動状況

区分	事故種別		火災 建物以外	交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	
	建 物	建 物 以 外											
出動件数	1			26	3	2	1	15	2		15	65	
活動件数	1			18	3	1	1	15	2		12	53	
救助人員	1			18	3	1	1	15	2		11	52	
出動人員	26			352	59	28	15	197	30		194	901	
活動人員	3			182	47	4	15	143	23		119	536	
出 動 車 両 等	救助工作車	1			25	1	2	1	12	1		14	57
	はしご付消防自動車												
	消防ポンプ自動車	3				1			1		1	6	
	化学消防自動車				4	3			1		2	10	
	水槽付消防ポンプ自動車	2			21	3	2	1	14	3		12	58
	指揮車	2			25	3	2	1	14	2		14	63
	救急自動車	1			29	4	2	1	14	2		15	68
	船舶												
	ヘリコプター												
	その他の消防自動車				3	10			7	1		1	22
	消防団												
計	9			107	25	8	4	62	10		59	284	

4 発生場所別出動状況

事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外									
発生場所												
屋内	住居	1						15	1		5	22
	その他の屋内											
屋外	道路			19		1					1	21
	水面				3							3
	山岳											
	その他の屋外			7		1	1		1		9	19
地下												
その他												
計		1		26	3	2	1	15	2		15	65

5 発生場所別活動状況

事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外									
発生場所												
屋内	住居	1						15	1		3	20
	その他の屋内											
屋外	道路			13							1	14
	水面				3							3
	山岳											
	その他の屋外			5		1	1		1		8	16
地下												
その他												
計		1		18	3	1	1	15	2		12	53

6 発生場所別救助人員

発生場所		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害 事故	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂事 故	その他 の事故	合計
		建物	建物 以外										
屋 内	住居	1							15	1		2	19
	その他の屋内												
屋 外	道路				13							1	14
	水面					3							3
	山岳												
	その他の屋外				5		1	1		1		8	16
地下													
その他													
計		1			18	3	1	1	15	2		11	52

7 地区別出動件数及び人員

地区別	件数及び人員等	件数	台数	人員
西尾地区		22	89	294
平坂地区		7	37	111
寺津地区		2	9	24
福地地区		6	25	80
室場地区		2	8	28
三和地区		5	22	76
米津地区		1	4	13
一色地区		2	8	27
吉良地区		11	47	151
幡豆地区		6	32	87
管外		1	3	10
計		65	284	901

8 月別救助出動状況

月別	事故種別		火災 建物以外	交通 事故	水 難事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建物	建物以外										
1月								2	1			3
2月	1			2	1			2				6
3月				3				3			1	7
4月				3				1			2	6
5月				1							2	3
6月				2	1	2		1			1	7
7月				4	1			1				6
8月				3					1		3	7
9月				3							2	5
10月							1	2			2	5
11月				3				3				6
12月				2							2	4
計	1			26	3	2	1	15	2		15	65

9 出動件数の推移

年別	事故種別		火災 建物以外	交通 事故	水 難事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建物	建物以外										
令和元年 (平成31年)	1			29	10		1	8	1		7	57
令和2年	1			13	3		1	12	1		4	35
令和3年	4			30	9		3	24	1		11	82
令和4年	4			15	11		2	12			16	60
令和5年	1			26	3	2	1	15	2		15	65